水木伝説 IV

悪魔くん特集



【第二版】

エロイムエッサイム　エロイムエッサイム、
我は求め訴えたり。
朽ち果てし大気の生霊よ、
万人の父の名の下(もと)に行(おこな)う我が聖なる要求に答えよ。
エロイムエッサイム　エロイムエッサイム、
ニンゲツ、リンゲシザン、　ミン、パッチュー。
地獄の犬よ、永遠なる呪いの深淵(しんえん)に転落せる生霊よ。
悪魔の本霊の大群の只中に雄々(おうおう)しく立てる我を見よ。
天地万物を混乱におとしいれる地獄の魔物よ、
陰気なる住家(じゅうか)を立ち去りて三途の川のこなたへ来たれ。
汝、もしも我が呼ぶ人を意のままに成し得(う)るならば、
おゝ、汝が百王の王の名において、
彼を我が指定せる時刻に出現せしめんことを。
朽ち果てし遺体よ、眠りからさめよ。
気体より踏みいでて、
万人の父の名の下に行う我が要求に答えよ。
太陽の門の開くのを待ち、
北へ５９００歩進んで地に伏し、
手を足に重ねて我は汝を求め見ることを得ん。




いま、ここに人類が、かつて生んだことのない、頭脳の
もち主が現われて、二万年に、ひとりしか理解できないと
いわれる、ユダヤの古書をひもといて
その文字の裏側にかくされた
「悪魔を呼びだす術」に
ふけっていたとしたら
どうであろう……


人間には　奇形児というのがあるが
精神てき奇形児だってある！
釈迦やキリストいらい
二千年たっても　それいじょうの
アタマのもち主が　現われない
ところをみると
大きな天才とは　精神てき奇形児で
あるという　みかたも
できるかもしれない……！


！！！！
わが悪魔くんが
！！！！
そうなのだ

悪魔くん25年の歩み

1964〜1989

エロイム・エッサイム・エロイム・エッサイム
我は求め訴えたり……

主人公"悪魔くん"が呪文を唱えると、魔法陣より"悪魔"が登場！妖怪を退治し、怪事件を解決する……。

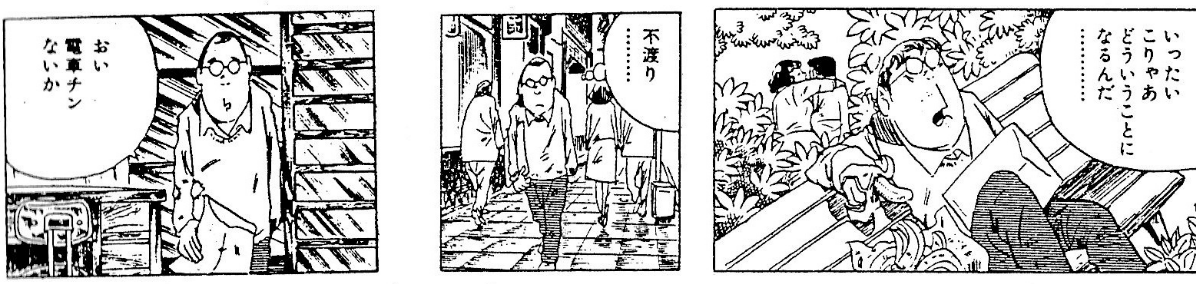
最もポピュラーな"悪魔くん"の概要であるが、初めて世に出た"悪魔くん"は、こうではなかった。

我が『水木伝説編集部』では"悪魔くん"を徹底研究した。貴重な資料を満載したこの一冊で、あなたは真の"悪魔くん"を知る……。



Ⅰ 悪魔くん誕生

作品『悪魔くん』を語る前に、その誕生の経緯は、ぜひ触れておかなければならない。戦争から帰った、原作者水木しげるを待っていたものは……



昭和31年頃、『ブラウン管』という名の怪物が、世間に出回って数年、娯楽の王者として社会に定着したお陰で、日本の娯楽の古典、『紙芝居』は、衰退の道を余儀なく歩まされる事となった。そんな時代の事、西ノ宮は今津で、『紙芝居』を飯の種にしていた、我等が水木しげる先生は“紙芝居業”の危機を逸早く察知。知人が東京で『貸本漫画』をやっていたのを機に、絵の道具と身の回りの品を集め、『貸本漫画』に活路を見出すべく、単身上京したのである。

そして、昭和32年。処女作「ロケットマン」を発表。いよいよ漫画家“水木しげる”としての人生を歩む事となる。しかし、『貸本漫画』を描き出したからといって、氏の貧困状態は、少しも改善されなかった。作品の人気が今一つ上がらないものだから、原稿料が上がらない。払いは遅いし、注文は少ない。毎日が戦争の様な状態であったという。

昭和34年。“貸本漫画界”は全体的に見れば、「ぼちぼち翳りが見えてきた」という程度だった。そんな頃、氏は兎月書房で“妖奇伝”という怪奇短編集の最高責任編集を任される。これを機に、氏は『紙芝居』で人気のあった“鬼太郎”を登場させる。

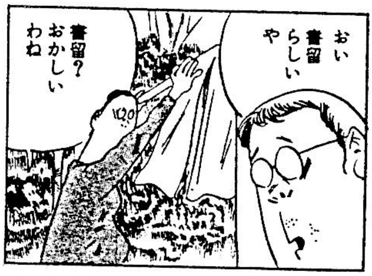


“鬼太郎”の登場で何とか食の種は繋いだものの、昭和35年、突然氏の両親が上京してきた。見合いである。当時40前だった氏に「40才になって、片腕の無い者(知っている人は知っていると思うが、氏は戦争で片腕を失っている)に、嫁なんか来ないから見合いをしろ」と言うのだ。しかし氏は、余りにも突然すぎる話なのと、“鬼太郎”で少し人気は出たが、貧困のドン底に変わりがないので見合いどころではなかった。が、「もうお前一人だから(兄も弟も結婚していた)、ここらで安心させてくれ」と言う両親の強い要望で結婚を決意する。





結婚はしたものの、氏の生活は一向に良くならなかった。というより悪い事の連発であった。まず、“鬼太郎夜話”の三洋社の長井勝一氏(後の“ガロ”で有名な青林堂社長)が病気で入院してしまい、原稿料が下げられてしまった。かと思うと、その直後に三洋社は倒産。そして一年後には兎月書房の倒産。その少し前に、約束手形で原稿料を受け取っていたので、それを不動産屋に割り引きにしてもらっていたから、倒産と同時に不動産屋に借金が出来てしまう。そこへもってきて、妊娠中の妻が、今にも子供が生まれそうだと言う。

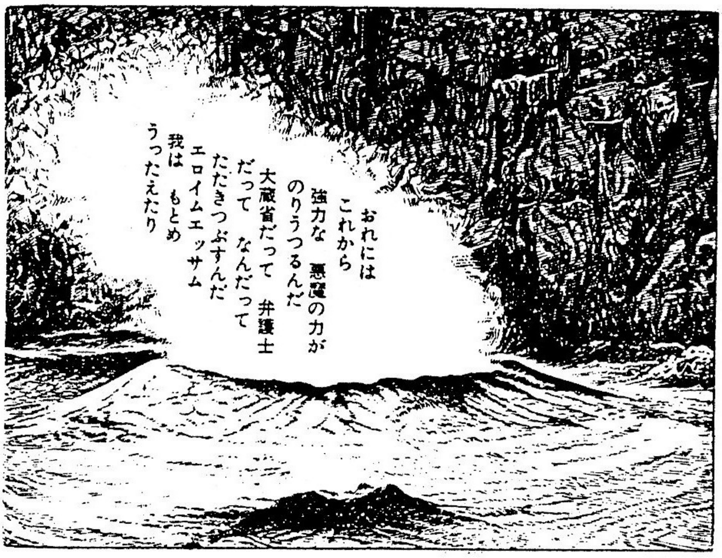


そんな時、地主がやってきて「この建築は無断建築です」と言い、9坪の建物が2軒建っているが、所有地からハミ出しているので片方を明け渡せ! と言うのだ。「しかし、そんな事、急に言われても……」と氏が言うと「じゃあ法廷で争いましょう」と言って帰った。その直後税務署がやってきて「申告所得があまりにも少ないが、ごまかしがあるのではないか?」と言うので、「我々の生活がキサマらにわかるかい!」と氏が絶望と怒りで、かなり迫力のある声で怒鳴ると、それから税務署からは何も言ってこなくなった。だからといって貧乏や困難が解消されたわけではない。地主との争いでは、やむを得ず2軒のうち1軒を手放した。その上、質札は3㎝位の厚さまでたまるし、金はどんどん無くなって、原稿料の入ら





なかった時は、電気代が払えず、電気を切られた事もあり、そんな時、氏は、ロウソクの光で原稿を描いたそうである。



まったくひどい話である。世の中、金のない者には冷たいものだ、金がなければ何ひとつ良いことが無い、笑い声ひとつ上げられないのだ。氏の世間に対する不満はふくらむ一方であった。

昭和39年、水木氏が、セントラル出版の帰りに一人の男から声をかけられる。「僕、桜井昌一です。水木さんのファンです。」これが、東考社社長、桜井昌一との初対面であった。水木氏と桜井氏は、よく気が合っていたらしく、一日中話をしていた事も稀ではなかったという。

ここで、興味深い話が一つある。水木しげる氏の作品の中に、たびたび登場している、四角い顔にメガネをかけた、出っ歯の男（女性の場合もある）…『悪魔くん』でも“情報屋”や“オカルトＢＥの町田”として登場している、と言えばわかってもらえるだろうか？　そう、あのキャラクターのモデルとなった人物こそ、桜井昌一その人なのである。

話が横道にそれてしまったが、水木しげる氏は、自分や桜井氏を苦しめている貧乏を打ち砕く魔法の話を考え出した。それは、**金のために人を殺したり、困らせたり、金のためなら何でもする人間がたくさんいる。その様な、色んな“悪”を“悪魔”以上の強力な力でフンサイするのだ**――という内容で、氏は、本のタイトルを『悪魔くん』とした。



“現世は夢となり、夢は現世となる!!” 氏の夢はこの作品に託された。自分の夢であるからペンにも力が入る。『悪魔くん』はここに誕生するが、今でも高い人気を誇るのもうなずける気がするのである。

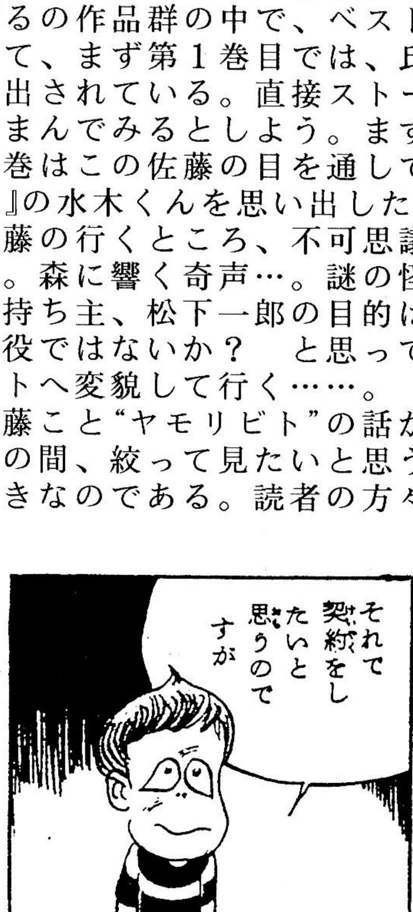
Ⅱ 悪魔くん

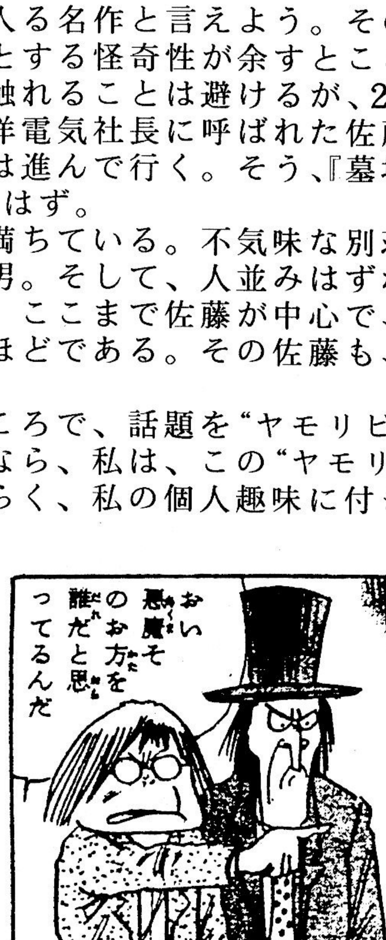
貸本漫画
東考社版

水木しげるは、東考社の桜井昌一とは、よく気が合ったという。２人とも、当時は大変な貧乏で、その貧乏を打ちのめす魔法の話を考えたという。水木しげるは、セリグマンの「魔法」（平凡社）とゲーテの「ファウスト」という２冊の本を参考に、ノート２冊分のストーリーを書いて『悪魔くん』を描き出した。貧乏神を追い出すはずの『悪魔くん』であったが、貧乏神は中々しぶとく、本(悪魔くん)は、思うように売れず、全５巻の大作になる予定が、３巻で終了させなければならなかった。しかしこの作品、３巻で終わってしまったとは言え、水木しげるの作品群の中で、ベスト３には入る名作と言えよう。その理由として、まず第１巻目では、氏の得意とする怪奇性が余すところなく描き出されている。直接ストーリーに触れることは避けるが、2・3かいつまんでみるとしよう。まず、太平洋電気社長に呼ばれた佐藤——第１巻はこの佐藤の目を通して物語りは進んで行く。そう、『墓場の鬼太郎』の水木くんを思い出した人もいるはず。

佐藤の行くところ、不可思議な事で満ちている。不気味な別荘番老夫婦。森に響く奇声…。謎の怪人、蛙男。そして、人並みはずれた頭脳の持ち主、松下一郎の目的は何か？　ここまで佐藤が中心で、佐藤が主役ではないか？　と思ってしまうほどである。その佐藤も、ヤモリビトへ変貌して行く……。

佐藤こと“ヤモリビト”の話が出たところで、話題を“ヤモリビト”に少しの間、絞って見たいと思う。なぜなら、私は、この“ヤモリビト”が好きなのである。読者の方々、しばらく、私の個人趣味に付き合っ





て頂きたい。
ヤモリビトは佐藤である。水木しげるが、以前お世話になった“佐藤プロ”からいただいたものであろうか？　そんな事はさておき、ヤモリビトの役柄は、『墓場の鬼太郎』で言えば、“ネズミ男”であり、『河童の三平』では“死神”である。しかし、ヤモリビトが、両者と違う点が、いくつかある。それは、先程も書いたが、ネズミ男も、死神も、主役を喰った活躍はしているものの、物語の主役は、鬼太郎であり、三平である。しかし、『悪魔くん』の場合、主役は、松下一郎ではなく、ヤモリビトが主役なのである。



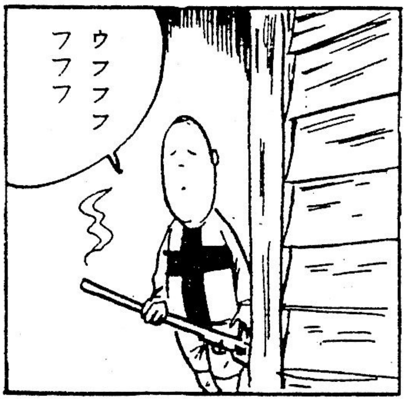


それは、前のページでも書いたが、物語は、佐藤中心に展開して行く事、そして、作品のテーマの一つである、貧と富の不条理も彼の言葉を通して描かれている等々である。例えば、ヤモリビトへと変貌させられてしまった佐藤が、喫茶店で、間違って向かいのテーブルに座るカップルのコーヒーを飲んでしまう、その時のセリフである。「おお、なんという悲劇だ！　あやまって他人のコーヒーをのんでもべんしょうする金もない……。」「ど、どうしてくれるんです。どないしてくれるのです」と怒鳴る客に、ヤモリビトは「あなた方のような、幸運にめぐまれた鼻の下の長いお方には分からないかも知れませんが、不幸な人は、より不幸になるというのが現実なんです」とさりげなく描かれているが、これが、原作者の言わんとしている事なのだ。

最後に、私がヤモリビトを愛する理由として、一つ挙げておこう。太平洋電気の一社員として登場した佐藤は、クールな二枚目だった。水木しげる描くところの美形キャラは、どれも素敵であるが、『悪魔くん』の佐藤も例外ではなかった。松下社長から派遣された佐藤が、夜な夜な出没するカエル男を探る姿は、刑事ものを連想させ、中々カッコイイのだ。ところがヤモリビトに変えられると、そのカッコよさは、どこかへ行ってしまい、かの、ネズミ男や死神のような、コミカルな味を出すようになる。悪魔を呼び出す時も、「エロイムのエッサイム」と言ったり、呼び出した悪魔に、何の力も無いのを知ると、「そうだ、呼び出された悪魔はただの人かも知れない。悪魔とは、それを呼び出す力を有するものが、とりもなおさず悪魔ではないか「悪魔く



ん」の有するこの大きな知恵の力……おお、これこそ悪魔ではないか。この悪魔という言葉を生命という言葉におきかえてみると、地中から生命を呼び出す力……おお、なんという知力だろう。この小さな子供「悪魔くん」こそ真の悪魔なのだ……」と考えごとをしているヤモリビトに、悪魔くんが「ヤモリビトくん、君は何を考えているんだい」「いいえ、その……あの……」といった具合である。いわゆる、このヤモリビトというキャラクターは、佐藤という美形キャラの魅力と、ネズミ男のような三枚目キャラの魅力を合わせ持ち、その両面性を、見事に使い分けている愛すべきキャラクターなのだ。



おっと、なんという悲劇だ！　ヤモリビトにページを使いすぎて残りの誌面が少ない。早く本題に戻さねばならない。

２巻目に入ると、水木氏が得た、魔法に関する知識が随所に出て来る。巻頭の数ページしかり、ヤモリビトとフランネールの対話しかりである。しかし、私自身、魔法に関しては、まったくのシロートなので、ここでは省かせていただく。２巻目には、魔法の事だけではなく、氏の本音とも言うべき“世の中に対する皮肉”も、明確に現れてくる。



フランネールが、ヤモリビトに言う言葉が強烈だ。「**いつもバカをみるのは善良な貧乏人です。そういうことは、昔から心ある人々の胸をいためていたことです。現在の世界をみてみなさい、多くの大衆の動くエネルギーが、国家というカベがあるために、無駄に使われて、このままでは、いつまでも世界は争い、貧乏人はみじめな一生を送らなければならない**」



読者の方々の中には、「別に強烈でも、なんでもない……」と思われる方がいるやもしれない。しかし、考えてほしい。先程のフランネール氏のセリフは、平成になった今日でも、通ずるものがあるであろう。この作品が発表された昭和39年から、我が国の、貧と富の差は変わっていないのだ。我々は、この話が、漫画の中の絵空事だと笑わずに、本当に“悪魔くん”のような“メシア”が現れるのを祈らなければならない。貧富の差がなくなり、世界が一つとなる日がくるのを待つのは、水木しげる氏一人ではないのだから……。

III

悪魔くん

少年マガジン　講談社版

貸本漫画時代の傑作“墓場鬼太郎”が“墓場の鬼太郎”として、週刊漫画誌“少年マガジン”に復活したのが、昭和40年。好評を博して、以後連載を続けるが、“悪魔くん”も鬼太郎同様“少年マガジン”誌にて復活する。昭和41年１月１日、悪魔くんは復活。しかし、その作品の内容は、貸本版とはかなり違ったストーリーとなっている。貸本漫画作品に見られる、社会に対する怒りや皮肉こそ影をひそめたが、水木氏のペンタッチが、最も冴えていたころの作品であるため、細部に至るまでの、丁寧なカット、白い部分黒い部分が、ちょうど良い釣り合いの誌面が大きな魅力であり、スピーディーなストーリー展開、二次元という限られた誌面で表現できる限界を超えた迫力あるドラマ作りは、ある意味において、“鬼太郎”を超えたのではあるまいか？　この作品が、東映の平山プロデューサーの目に止まり、“鬼太郎”や“河童の三平”よりも先に、映像化されたということは、ファンならずとも知るところであろう。以後、“悪魔くん”は、ＴＶ化と漫画連載が、平行する。

マガジン版“悪魔くん”は、昭和42年４月まで続き、全部で６つのエピソードがある。ここでまたもや私的であるが、その魅力を追及してみたい。

【悪魔くん登場】

物語りは、“悪魔くん”こと山田真吾少年が、悪魔を呼び出し、それに協力した“ファウスト博士”からもらった“ソロモンの笛”をインド人の魔術師パゴタから奪い返すといったもの。貸本版の悪魔を呼び出すシーンをそっくりそのまま描き直しているが、キャラクターは、蛙男が貧太少年になり、悪魔がポマードをべっとりとつけた紳士風の男、ロソンから、ヤモリビトと同じデザインの英国紳士、メフィストに変わった。貸本版で、あれだけコミカルに情けないキャラクターであったヤモリビトが、同じデザインでありながら、少年マガジン版で、活躍する悪魔は正反対にカッコイイのだ。







【悪魔メフィスト】

貸本漫画の名作“火星年代記”をベースに、“百目”・“すねこすり”などの妖怪が登場する、活劇。何と言っても、百目、すねこすりなど、妖怪のタッチがすごい。百目に関しては、全身点描でアクセントを付けているというすぐれもの。



【なんじゃもんじゃ】

油すましと小豆とぎが、二つの妖怪を合体させ、超怪物なんじゃもんじゃを登場させる。悪魔くんとメフィストは、この事件を解決するため、地獄のエンマ大王と対決する。2大妖怪(地獄の魔物とタコのような怪物)が、大東京で対決するところから、なんじゃもんじゃとの対決、地獄でのエンマ大王との対決と、シリーズ最高の迫力編。なんで実写でやらへんかったんじゃい！



【ビチゴン事件】

村の底無し穴に豚のふんを放り込んで始末したところ、怪物ビチゴンが出現。悪魔くんはメフィストを呼び出し、ビチゴンを退治する。**汚れたものを垂れ流すと、良くないぞ！**という教訓に感動した。あまりに汚い話なので、アニメ化は無理でしょう。



【まぼろしの館】

実写化もさされた、シリーズ唯一の怪奇編。これも、洋館の細密な絵がすばらしい。

【クモ仙人】

クモ仙人の呪いにかかり、蜘蛛にされた悪魔くんは、大ピンチ！ メフィストもクモ仙人には歯が立たない。どうする悪魔くん?!

これまた、巨大グモの絵がすごい。シリーズ最強の妖怪クモ仙人との対決も見ごたえがある。



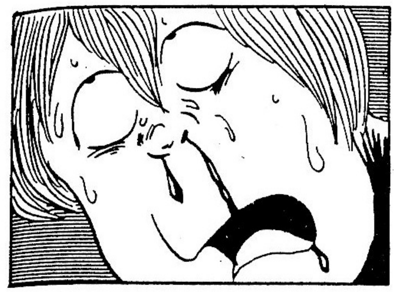


IV 悪魔くん千年王国

少年マガジン版の人気で、忘れ去られてしまったと思っていた“貸本版悪魔くん”の世界が、昭和45年3月30日、少年ジャンプ誌にて復活する。貸本版が、思うように売れなかったので、未完成のまま終わってしまったが、新たに描き直し、完成させたところを見ると、水木しげる氏は、相当この作品（貸本版のテーマ）が気に入っていたのだろうと想像する。



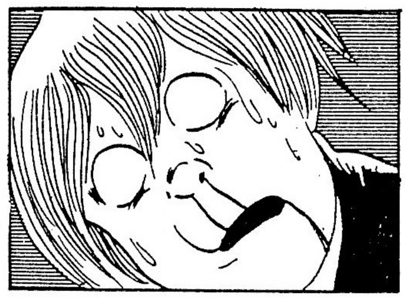
物語も、貸本版とほぼ同じであるが、全く同じというわけでもない。貸本版で、描けなかった後半の部分が明確に描かれており、貸本版で一部しか登場しなかった12使徒も、全員がそろう。12使徒の中にキリヒトが加わったため、キリヒトがサタンの手下ではなくなり、悪魔くんは、警官の銃弾により死亡する。



描いた時代が１９７０年であるから、作品の中に万博がちらほら出てくる。私としては、これを見ると、非常に懐かしくなるのである。

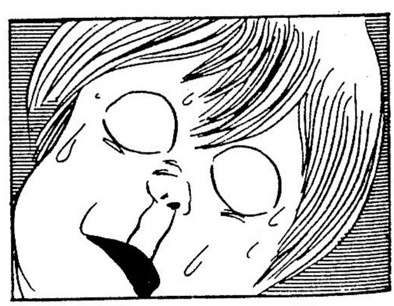
復活悪魔くん

「悪魔くんは、7年目にかならずよみがえる」



“貸本版 悪魔くん”のラストで、蛙男が佐藤に言った言葉であるが、この悪魔くん、“千年王国”から数えて、7年後（正確には6年半後）によみがえる。

死んだ悪魔くんは、地獄（？）で死をも克服し、地獄の魔物を征服した。悪魔くんは、地獄とこの世を一つにするため、魔物を地上に派遣するが、魔女とねずみ男の策略で、自衛隊と対決。さらに鬼太郎が登場し大乱戦となるが、悪魔くんと鬼太郎は和解し、めでたしめでたし……ファンが、夢にまで見た、鬼太郎と悪魔くんとの共演である。その後、“世紀末大戦”が発表されるため、“悪魔くん”の番外編と考えた方が良かろう。

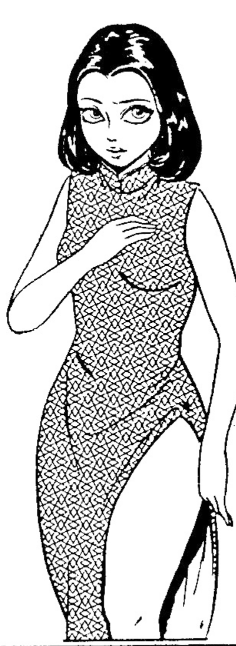


V 悪魔くん 世紀末大戦

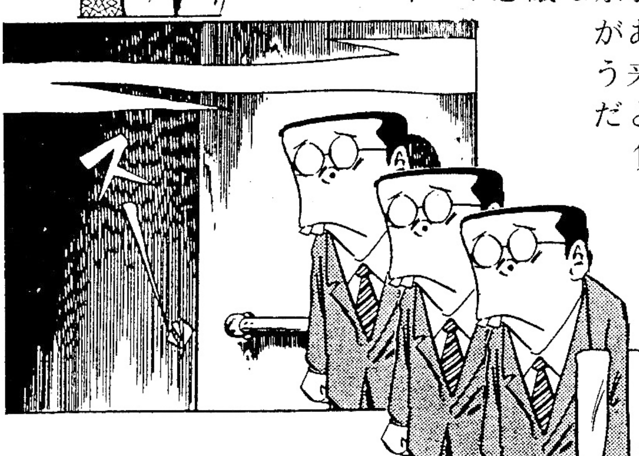


常に、怪奇漫画家の頂点に立っていた水木しげるは、妖怪やお化けが庶民の恐怖の対象として扱われなくなった現代に、次なる恐怖を我々に用意していてくれた。

昭和62年10月から連載の「悪魔くん 世紀末大戦」がそうである。（『コミックＢＥ』という、超マイナーな雑誌連載であったため、文社コミックスで出版されてから知ったファンも多かう。しかし、我が水木伝説編集部では、連載当初からこの作品に注目していた）



人々の恐怖は、次第に、妖怪やお化けから遠ざかって行っている。この世に存在するかしないかわからないものに関心を持つより、人々は、来るべき時……そう世紀末に関心を寄せ、その終末の日に恐怖を覚えるようになるのだ。水木しげるは、いち早くこれを題材にした、新作を打ち出したのである。それは、あの名作“貸本版 悪魔くん”の完全な続編で、第１話はそのダイジェストであった。第２話では、冒頭に、世紀末を叫ぶ不思議な宗教団体風の集団が都会を行進する場面があるが、いつか我々が体験するであろう来るべき時に、目の当たりに見る風景だと思うと、ゾ～とするのだ。そして、



貸本版で死んだ“悪魔くん”が復活し、再び千年王国を築こうと、12使徒を集めるのだ。水木漫画特有の風刺色や、美女キャラなど、大変楽しめた作品だったが、連載誌が連載誌だったため、途中で終わってしまい、残念だ。連載再開の日を祈るばかりである。

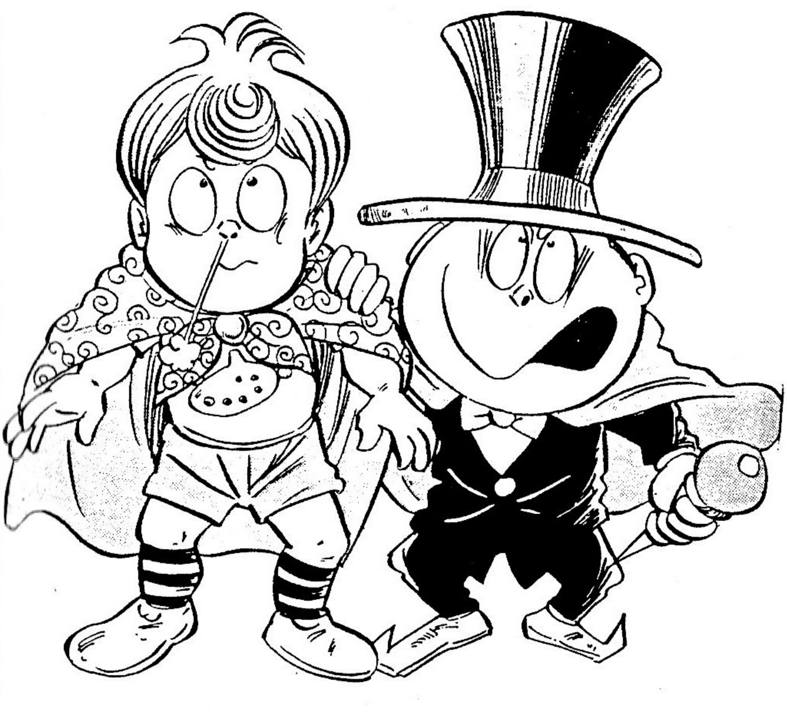
VI

最新版（さいしんばん）悪魔（あくま）くん

“悪魔くん 世紀末大戦”が、あまりにも早く、あまりにも中途半端に終了してしまったため、二度と、新作の悪魔くんには、お目にかかれないものと思っていたが、世紀末大戦の連載終了から数ケ月後、早くも新作悪魔くんにお目にかかれた。

前作の“世紀末大戦”がエロ漫画中心の『コミックＢＥ』であったため、購入に抵抗があった（気にしない人はいいが、レジの女の子にこの雑誌を出すのは、いやなものである）が、今度の“最新版 悪魔くん”は、さらに購入するのに抵抗がある雑誌連載である。対象年齢が10歳以下の幼児雑誌、『コミックボンボン』の連載である。（気にしない人はいいが、買いにくい上に、他に読むところがないのである）ハッキリ言って、今回の連載の情報を知った時はガッカリしたものであったが、現在（平成元年12月）第２巻まで、コミックスとして出版されているものを一読してみると、これが！ 中々！ 幼児雑誌と馬鹿にできないほど、面白いのだ。“世紀末大戦”が、貸本版の続編なら、この最新版は、“少年マガジン版”の続編！ ……とは言い切れないが、それに近い内容となっている。主人公の名前が真吾で、ファウスト博士や、あのメフィストの息子である、メフィスト２世が、それぞれ登場、活躍している。なにはともあれ、現在連載中のこの作品に注目しようではないか！

（しげ幽鬼）



悪魔くん単行本ガイド

悪魔くんファンならもう水木先生の原作本も所持して、そして既に悪魔くんのことは熟知しているかもしれない。その様な人には悪いがここでは原作を持っていない人、もっと原作を読んでみたい人のために、悪魔くんの単行本を紹介して行きます。

悪魔くんの単行本を大別しますと、

◎悪魔くん（貸本版）
◎悪魔くん（マガジン版）
◎千年王国
◎悪魔くん世紀末大戦
◎最新版悪魔くん　　　　の５種類になります。

その他、悪魔くん関連作品として２作品あります。詳しくは後の項を参照して下さい。

<記号の説明>
★書店にて入手可能な本。
※当倶楽部入手推薦の本。

悪魔くん作品リスト

昭和39年　「悪魔くん」全３巻　全 399P　東考社・ホームラン文庫（貸本）掲載
昭和41年１月１日～２月６日　「悪魔くん登場」全75P　講談社・週刊少年マガジン掲載
昭和41年11月13日～12月18日　「悪魔メフィスト」全96P　〃
昭和41年12月25日～昭和42年２月26日　「なんじゃもんじゃ」全 137P　〃
昭和42年１月１日　「ビチゴン事件」全24P　講談社・別冊少年マガジン掲載
昭和42年３月５日～３月19日　「まぼろしの館」全45P　講談社・週刊少年マガジン掲載
昭和42年３月26日～４月16日　「クモ仙人」全60P　〃
昭和45年３月30日～10月19日　「千年王国」全 609P　集英社・週刊少年ジャンプ掲載
昭和48年５月１日　「突撃悪魔くん」全31P　集英社・月刊少年ジャンプ掲載
昭和51年７月１日　「復活悪魔くん」全32P　〃
昭和62年９号～昭和63年15号　「悪魔くん世紀末大戦」全 213P　光文社・コミックＢＥ！掲載
昭和63年12月号～連載中　「最新版悪魔くん」　講談社・コミックボンボン掲載

◎悪魔くん（貸本版）

貸本版は朝日ソノラマの貸本漫画傑作選のシリーズのおかげで見ることが可能になった。しかし書店の在庫が悪いため揃えている店を探すか書店に注文するしかない。また東考社・桜井文庫は読者コーナーや当時のおくづけまで掲載した完璧復刻本。地方出版のために入手困難なのですが大型書店に注文すればなんとか入手できるはずです。

★※「悪魔くん上・下」（Ｂ６版）朝日ソノラマ

水木しげる貸本漫画傑作選12・13　昭和62年発行

※「悪魔くん上・中・下巻」（文庫版）東考社

桜井文庫46・47・48　昭和61年発行



◎悪魔くん（マガジン版）

悪魔くんのコミックスはアニメ化にともない講談社が発行・重版されているので一番入手しやすいと思う。だが少年マガジンコミックスでは、「なんじゃもんじゃ」が、１から２巻にまたがって収録されているので少々読み易さに欠ける。しかし同じ入手するならば“サンワイドコミックス”をお勧めする。良い点は発表順に収録されているのと、全１巻なのでこれ一冊でマガジン版が全て分かるのです。

「悪魔くん」（新書版）講談社

講談社コミックス　昭和43年発行

「悪魔くん登場」「悪魔メフィスト」

「まぼろしの館」「ビチゴン事件」を収録。

「悪魔くんの冒険」（新書版）朝日ソノラマ

サンコミックス　昭和46年発行

「なんじゃもんじゃ」「クモ仙人」

「その後のゲゲゲの鬼太郎」を収録。

「がんばれ悪魔くん」全２巻（新書版）双葉社

パワァコミックス　昭和51年発行

★※「悪魔くん（全）」（Ｂ６版）朝日ソノラマ

サンワイドコミックス　昭和59年発行

★※「カラー版妖怪まんが・悪魔くん」（Ａ５変形版）

小学館入門百科シリーズ 175　昭和60年発行

★　「悪魔くん」全２巻（新書版）講談社

少年マガジンコミックス　昭和60年発行





◎千年王国

「悪魔くん千年王国」は、ＫＣスペシャルｏｒ少年マガジンコミックスのどちらかを勧める。しかしちくま文庫は版が小さくてせがないのであまり勧めたくない。またジャンプコミックスは完璧版なので、古本屋めぐりをして入手する価値は十分ある。



「千年王国」全３巻（新書版）集英社
ジャンプコミックス　昭和46年発行

「千年王国」全３巻（Ｂ６版）汐文社
ホームコミックス　昭和51年発行

★※「悪魔くん千年王国」全２巻（Ｂ６版）講談社
ＫＣスペシャル　昭和60年発行
２巻に「宇宙卵」を収録。

★　「悪魔くん千年王国（全）」（文庫版）筑摩書房
ちくま文庫　昭和63年発行

★　「悪魔くん千年王国」全３巻（新書版）講談社
少年マガジンコミックス　平成元年発行

◎悪魔くん世紀末大戦

『コミックＢＥ！』はいわゆる青年誌でして、小・中学生の少年少女達にとっては不健康な雑誌に連載された。今回の単行本化のお陰でどなたでも手にしやすくなりました。

★　「悪魔くん世紀末大戦」（Ｂ６版）光文社・光文社コミックス　平成元年発行

◎最新版悪魔くん

現在連載中なので説明不要。平成元年11月現在２巻刊行（以下続巻）しています。

★　「最新版悪魔くん」（新書版）講談社・コミックスボンボン　平成元年発行

◎その他

月刊少年ジャンプに掲載された作品を収録したコミックスと、悪魔くん関連の発行物を紹介します。こちらもコレクターの一部として揃えてみるのも一考でしょう。

◎「突撃悪魔くん」…講談社ＫＣスペシャル　「水木しげる不思議な世界・円盤同乗記」に収録。

◎「復活悪魔くん」…朝日ソノラマサンワイドコミックス　「死神大戦記＜下＞」に収録。

◎小学館入門百科シリーズ65　「悪魔くんの悪魔なんでも入門」

◎講談社ポケット百科シリーズ63　「悪魔くんふしぎ大百科」

あと北冬書房発行の「悪魔くん」がありますが、入手できず資料的にも何もありません。努力不足で申しわけありません。まだこの他にも「悪魔くん」関連の発行物があると思われますが、現段階でわかっているだけの資料を載せました。

（悪魔くん単行本ガイド／制作：大西いずる）

なつかしの

とびら特集

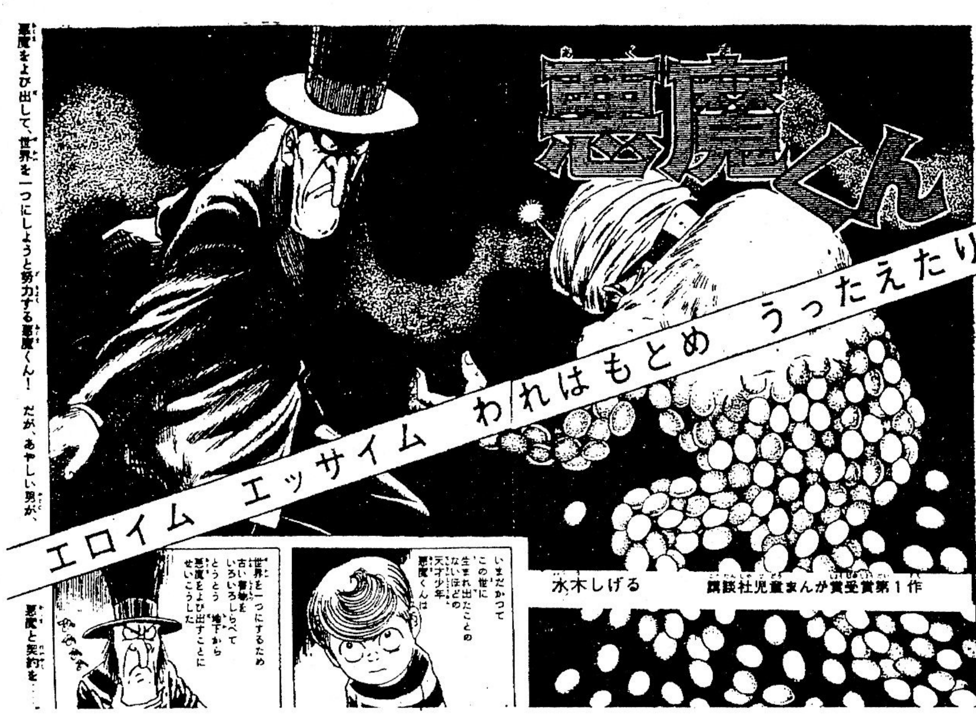




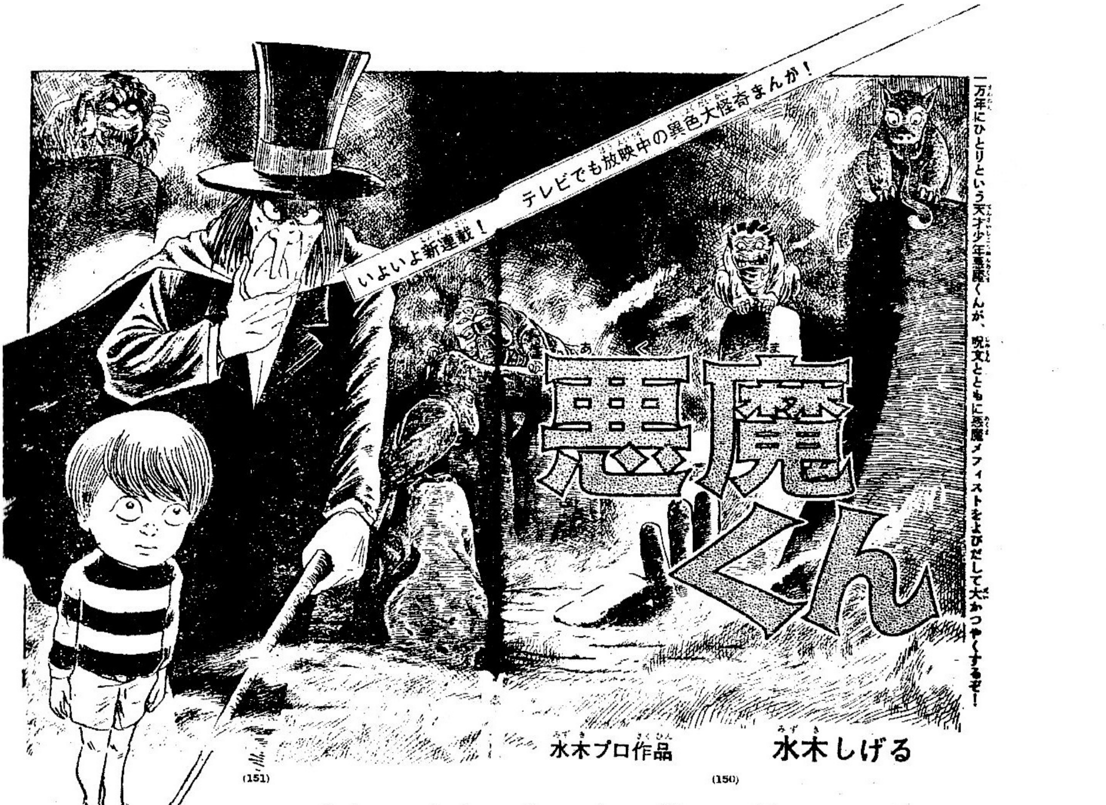
週刊少年マガジン／S41．第4号

今回は私が大阪中を探し回ってやっと手に入れた当時の少年マガジンを、完璧ではありませんが手に入った分だけ集めました。

本当は全部載せたかったんですがどうにも集まらなくてすみません。もし良ければこれを読んでいてくれてる人で、『俺はこの他のこんなページを持ってるぞ～』と言う人がいたらコピーして送って下さい。お願いします。



週刊少年マガジン／S41．第5号



週刊少年マガジン／S41．第45号





週刊少年マガジン／S41．第46号&最終ページ

※コミックスでは最終ページが収録されていません。



週刊少年マガジン／S41．第47号



週刊少年マガジン／S41．第48号



週刊少年マガジン／S41．第49号

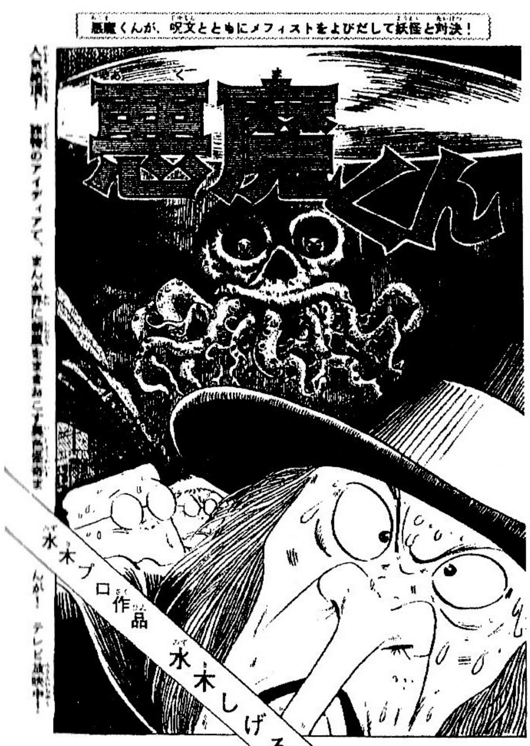


週刊少年マガジン／S41．第50号





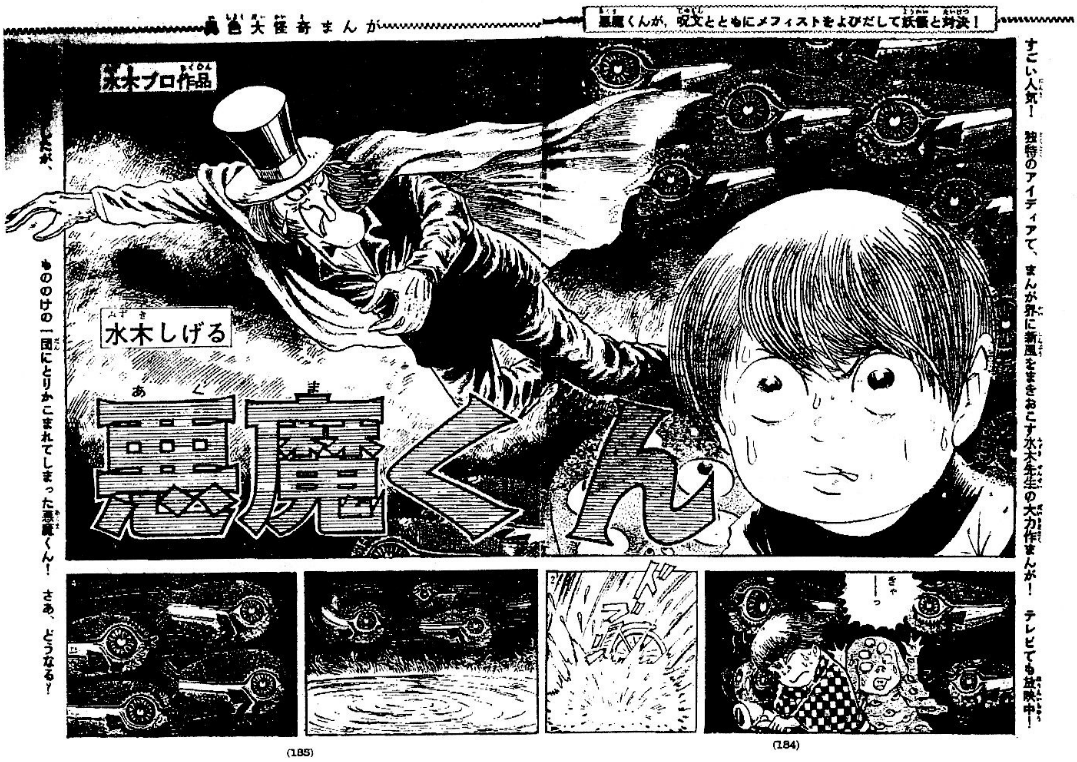
週刊少年マガジン／S42．第6号&登場人物紹介



週刊少年マガジン／S42．第7号



週刊少年マガジン／S42．第8号



週刊少年マガジン／S42．第5号





 週刊少年マガジン／S42．第1・2号 週刊少年マガジン／S42．第12号



左のページは、サンコミックス「悪魔くんの冒険」の５９ページです。この他の単行本ではまるまる１ページ分がカットされていて見れません。なんか勿体ないですね。出来れば雑誌連載そのままの形で１冊の本にまとめたいですね。

（サンワイドコミックスでは、「悪魔くん（全）」２１４ページの次にこのページが来ます）

「なんじゃもんじゃ」でカットされている1ページ



週刊少年マガジン／S42．第15号



週刊少年マガジン／S42．第16号

昭和３９年にタイムスリップ！

『悪魔くん』は現在より２５年前、東考社ホームラン文庫より発行されました。そしてこの本より当時の水木ファンの生の声がうかがえます。これがまた実に正直で且つ強烈な声が寄せられ、危ない声があると言うのにも拘らず本に載せる方も偉いが、これを水木先生がきちんと答えている所が実に素晴らしいのです。

それでは昭和３９年のファンの声をどうぞ。

東考社・桜井文庫（昭和61年発行）が『悪魔くん』全3巻を完全復刻。読者コーナーもちろん当時のおくづけまで復刻された完璧版。今回はこの本より抜粋させていただきました。

読者コーナー



怪奇画、似顔、批評、なしでもよろしい。二集より読者コーナーの頁をひらきますので、ドシ〱投書下さい。送って下さったお方にチユウせンにて原画送ります。**送り先は**

東京都調布市下石原二三九九

水木しげる デス

第二集 は9月30日発売になります

悪魔くん ① 水木しげる作

著者 水木しげる
印刷 奥村印刷
製本 大島製本
発行人 辰己義興

発行所 東京都国分寺町本多新田 366

東考社 ホームラン文庫

136

読者コーナー

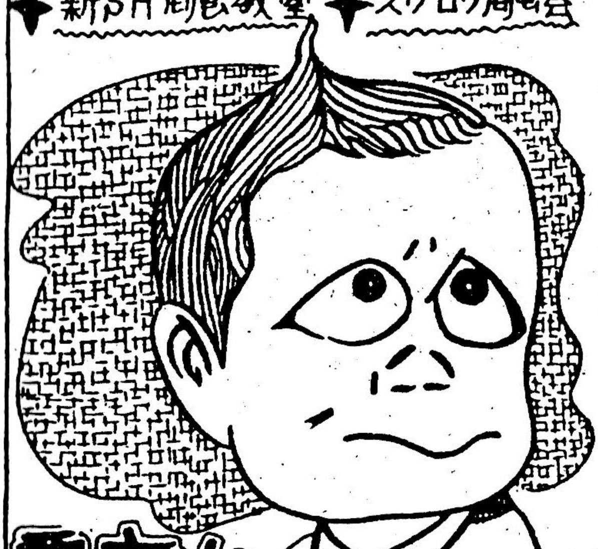
送り先　調布市下石原2399水木しげる宛ハガキでも手紙でも可　批評・画　其他なんでもよろしい　原画のほしい人には送るボクは絵も好きだがイロイロ批評してもらうことも好きだ。

別府市　麻生純一



◆新SH劇画教室　◆スワロウ劇画会

名古屋市　浅井研二





広島市

←久村貞雄

みな絵がまい

東考社発行・桜井文庫　「悪魔くん」中巻より

水木先生「悪魔くん」みました
やはり怪奇物では先生の右に出る者はいないと私は思います特に景色がなんともいえない怪奇なムードが出ています。確か私が先生の作品を一番はじめに見ましたのはインド洋作戦と云った戦記物です。戦記物も仲々い、ですよ。先生の作品はどれをとってみてもスバラシイ。ストーリーがい、ですね。
今後もこの様な作品を書いて下さい
（高知市　筒井繁典）

○ほめて頂いてスミマセン　あんたずいぶん昔からマンガみてんですね。学校の方大丈夫？落第しないでね。



水木先生　僕は先生と楳図先生の大ファンです前の「カッパの三平」も大へんよかったが、今度の「悪魔くん」第一集目からこんなおもしろさだったら第二・三集はこれ以上と思っています。水木先生の絵もスキですけどストーリーが大好きです。あんなストーリーを考えるぐらいならヨッポドのバカか頭のい、人かですネへへへ……。でも先生はキットい、方ですね。僕はまだ先生の顔をみておりません(アタリマエ)先生の顔を本にのせて頂けませんか。こんな顔した男がこんな話を考えるのだなアと想像しながら読むのもたのしいです。
（福岡市　江島一夫）

○長文の御批評ありがとうバカか頭のよい人とあるうちきっといい方とありますがそれは全くボクと同意見です。ボクは子供の時から山下清に似ていたため、バカではなかろうかと親をヤキモキさせたものです。しかしなにをかくそう実はテンサイなのです。このことは今までひたかくしにかくしていたのですが……写真はいずれ機会をみて本にのせます。モチロン美男子デス？





倉市　半田輝雄

大阪市　岡本たろう→

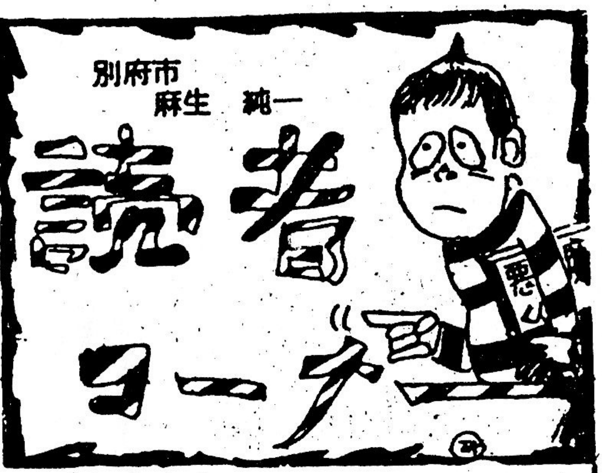
魔くん② 水木しげる

著者　水木しげる
印刷　奥村印刷
製本　大島製本
発行人　辰巳義興

発行所　東京都国分寺町本多新田
366

東考社　ホームラン文庫

「悪魔くん」御希望のお方は切手二百円封入の上発行所に御送り下さい。第一巻　第二巻いずれも可



水木先生今日は！悪魔くん読みました、先生の本は人気があるらしく貸りるのに苦労しましたやはり苦労しただけあってストーリー絵など天才的個性があるように思えましたエロイムエッサイム、変な呪文で活躍する悪魔くんに非常に引きつけられます鎌倉市小町八三鈴木ゆたか方はやさか建



先生僕は先生の漫画をみたらボクの精神はイカレタ!!悪魔くんは僕と同じに十万年に一人といわれる頭脳の持主だそうですね僕は悪魔くんとちがって哲学が大すきです山口市大附町二十一高塚忍風

○精神がイカレタそうですが良い方にイカレテ下さい

○先生の「悪魔くん」才二集拝見しましたストーリー、絵とも大変よかった。たゞ云っていることがむずかしいのでもう少し字をかんたんに書いて下さい。それと絵が少し抽象的になったようですがそれはイケマセン、一番感心したことは前より絵がうまい事ですストーリーも前よりづっといゝ豊島区池袋二ノ九四 ○小川周二

○全くその通り少しむずかしかったですねだから三で完結にしておきました



佐賀県 志佐次郎

僕は水木先生の怪奇漫画の大ファンです先生の作品は他の作家にはみられない大変なあつみがあり一作一作がバラバラでなく全体的に一本の筋（信念）が通っているように思えます。僕がこの前パラケルスとかパラについて調べたところ前者は分り



広島県 畑雅明

133

東考社発行・桜井文庫　「悪魔くん」下巻より



広島市　浜根ヒデオ

ませんでしたが教えて下さい

○ガハラはガハラでなくカバラが本当です。カバラはユダヤ人で術と数学をむすびつけた人でその系統の人をカバラ主義者といっています

水木先生今日は、はじめましてお便りします。先生作品「悪魔くん」を見ました、先生の作品は墓場鬼太郎、河童の三平などの長編や黒のマガジン劇画NO1などの長編みましたが今度の悪魔くんほど面白いものは初めてです、それは今までの怪奇物に魔法を加えたからだと思います、それに先生どくとくのペンタッチが怪奇ムードをもりたてています。

阿南市橘町西浜五九ノ
一谷繁雄

○どうも色々みて頂いてありがとう、悪魔くんは好評でしたが省多忙で毎月出せずこまっておりました。五集までつづけるつもりでしたが、二、三ケ月に一冊しか書けそうもないったので三で完結にしました



田川市　安藤文夫

僕は先生を精神的奇形児たと思いますね。それでなくてはこん



尾道市　谷ヒサ子



な漫画、描けんもんな、頭が良すぎるのだナ、だいたい思うんですが漫画というやつは頭いたい思うんですが漫画というやつは頭がモウレツに良くなかったら君いけませんよホント、この頃、にわかづくりの漫画がハンランしているけど……長だべってすいません、先生が僕に返事下さるならボク幸福ですホント

大阪市住吉区粉浜東ノ町紀井桂一



横浜市
草刈貴



水木先生、悪魔くんよみました。イカシますねエ何といっても怪奇物は先生の外にかける人はいませんね、正に黒のムードというところです私もこのところ怪奇物にこって作品を描いています。できたら先生に送りたいと思います批評して頂けますか？先生のスバラシイストーリーは何を資料にして描かれるのでしょう？又ペンは何を使っておられますか

松本市大江町本二二三六小山一行

○

批評しますョたゞし返信用切手同ふうの事、ストーリーは半分以上創です。他からネタをとる場合決してそのまゝ使用せず自分なりになおします。創作の根本タイドはですね、科学とか常識では分らないこと、これにどっしり尻をむちつけて色々想像してみるのです。毎日やってい



大阪市
小林栄培

悪魔くん一、二、三集ほしい人は切手二百円封入の上ホームラン文庫



クラブ紹介

◎手塚拝劇画会（パイラップル）
本部高知県南国市後免町
一八九ー五　依光　伸夫
細容…十円切手送れば案内書
送ル、分ルネ

◎劇画ノ子グループ
横浜市中区花咲町一ノ八
広雄

◎十円切手送れば案内書送ル
紹介してほしい人は調府市
下石原二三九九水木しげる方に
…水木氏作品に紹介致します

◎悪魔くん(3)　￥一九〇
◎著者　水木しげる◎製版　三
共プロセス社◎印刷　奥村印刷
◎製本　大島製本所◎発行人
辰巳義興◎発行所　東京都北多
摩郡国分寺本多新田三六六
◎東考社　ホームラン文庫
電話　〇四二三(2)五八四一

『千年王国』関連記事復刻

ここ数年『千年王国』の再発行において、掲載されなかった原稿を集めました。大手出版社は諸所の事情もあってなのか、いや只単に本編のみ載せたらそれで良いのだ、という考えがあるようである。

本書の巻頭における４Ｐと最近発行された『千年王国』の巻頭を見て貰いたい。今は新たに描き直された４Ｐがコミックスに収録されて発行されている。見比べて見ればキャラの違いが一目瞭然なのである。出版社は是非当時のままの完全版でコミックスを発行すべきだと思う。

そこで、現在掲載されていない“登場人物紹介と前巻のあらすじ”と、“著名３氏によるあとがき”をここに掲載いたしました。



黄色いバナナ

「ガロ」編集長　長井勝一

もう六年ぐらい前になるだろうか。そのころ、水木しげる氏は、貸本の読者を対象にして発行される、わずかな部数の単行本を、わきめもふらずにかき続けていた。貧乏時代である。当時、私は「ガロ」というマンガ雑誌を創刊し、悪戦苦闘していた。水木氏は当初よりその雑誌に執筆してくれて、返品の山に、ともすればくじけそうになる私の心をはげまそうと、よく陣中見舞に現われた。ある時、なけ無しのサイフをはたいて、折れてコマ切れになり、うすぎたなく変色したバナナを買ってきて、女子社員にさし入れたのである。果物カゴに豪華にもりつけられた黄色いバナナには、だれだって手が出るが、外見の悪いものは敬遠したくなる　辞退する社員達を氏は懸命になって説得し、すすめるのである。私はそんな水木氏に心を動かされた　バナナは腐敗寸前が一番美味である。氏は戦争によって南方に行き、そのことをもっともよく知っていたのである。

外見が悪く、人達にあまり歓迎されないものであっても、誤解されようとも、まずいものに迎合するためにさし出すよりは立派であるとする考えがいつも水木氏にはあった。それが水木マンガの基となっているように私には思われる。変色したバナナを誤解し、敬遠する人達を説得し、絶望して焦だち、怒り、ついにはむなしくなって現実の世界から逃げ出そうとするのではないだろうか。作品に登場する主人公達も、作者のその内面の過程を直接的に現わし、水木マンガの独自性を形成するのである。

「千年王国」は、水木氏が無名のころであった昭和39年に、「悪魔くん」の処女作として創られ、一部の人達に幻の名作といわれたものの改作である。「悪魔くん」は、現実がむなしくなり、逃避した作者が幻影の世界に、自分の理想の王国を建設しようと夢みた前人未踏の壮大な物語なのである。

199　198

集英社発行・ジャンプコミックス　「千年王国」第１巻より



みんなに親しまれる妖怪たち

落語家　三遊亭金馬

ヘゲ、ゲ、ゲゲゲのゲ
みんなでうたおうゲゲゲのゲ

水木しげるさんといえば、「ゲゲゲの鬼太郎」のこのうたを思いだします。

そして、このうたは、子どもから大人まで、日本じゅうの人びとにうたわれ、親しまれました。

〝オバケ〟や〝妖怪〟といえば、ふつうは、こわいもの、気持ちのわるいものということになっていますが、水木さんの〝オバケ〟や〝妖怪〟は、日本じゅうの人びとに愛され、親しまれてしまうんだから不思議ですね。

こんなことができたらいいだろうなあ――と思っていることを妖怪たちがやってくれるんです。

きみたちの夢をかなえてくれる、漫画なんですね。人間にはできないこと、人間の能力では、どうしようもないことを、水木さんの漫画は、自由にやってのける。そういう意味では〝妖怪漫画〟というよりは〝超能力漫画〟といったほうがいいかも知れませんよ。

この『千年王国』の漫画の主人公〝悪魔くん〟も、まさに超能力者です。

まだ小学生なのに、高等数学を、スラスラと解いてしまい、古代の、むずかしい文字もどんどん読めちゃう、すばらしい頭脳の持ち主。

その少年が、人間のみにくいあらそいや、うばいあいをなくし、平和な世界を築こうと、大活躍をしています。

ほんとうに、地球のどこかでは、必ず戦争や人殺しがあって、少しも安心できないね。

この天才少年〝悪魔くん〟のようなすばらしい人がでて、世界平和が実現するといいですね。いや、きみにだって、それができるかも知れないよ。

196　197

集英社発行・ジャンプコミックス　「千年王国」第２巻より



『千年王国』はきみの手で―

俳優　熊倉一雄

妖怪まんがの第一人者、水木先生の大ファンです。

というのは「ゲゲゲの鬼太郎」の歌をうたったたのしい思い出があるからです。妖怪の世界をたのしく絵で見せてくれるのは、水木先生だけです。こわくて、恐ろしい妖怪なんて、気持ち悪くて、いやですね。でも、水木先生の妖怪まんがは、とても神秘的な感じのなかに、たのしさがあります。夢があります。

『千年王国』をきずき、世界じゅうの人びとが、平和にくらせるようにしようとする悪魔くんの夢は、ほんとうにすばらしい。

だれでもがそう願っていながら、だれもそうしようとしない。

みんな、自分だけが得しよう、自分だけがお金もちになろうとしています。だから、いつもあらそいがたえません。みにくいうばいあいや、戦争が、いつまでもいつまでも続いているのです。人間同士が殺しあうようなひどい世の中になっているのです。

悪魔くんは、そんなみにくい世の中をなくそうと、この物語のなかで、大活躍をしています。

きみも、ひとつ、このまんがをたのしみながら〝平和〟とはなんだろう、〝幸福〟とはなんだろうということを、じっくり考えてみてはどうだろう。

世界平和のことを考えるなんて、スケールがでっかくて、男らしくて、すばらしいじゃないか。

悪魔くんは、死んでしまうけど、悪魔くんのかわりに、こんどはきみが『千年王国』をきずいてほしい。

みにくいあらそいのない、平和な世界を、きみたちの手でつくってほしい。

202　203

集英社発行・ジャンプコミックス　「千年王国」第３巻より

登場人物紹介と



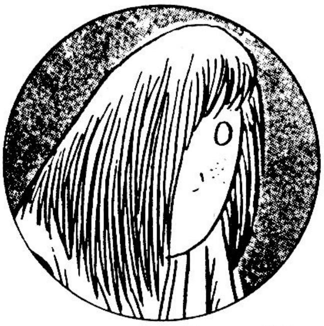
サタン



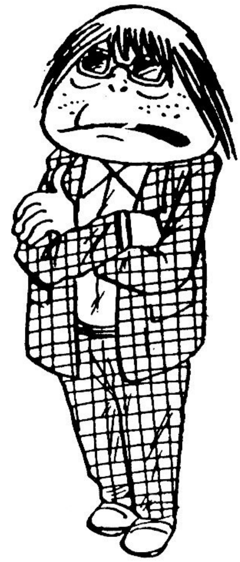
第二使徒 ふくろう女



第三使徒
ヤモリビト



第十使徒 幽霊



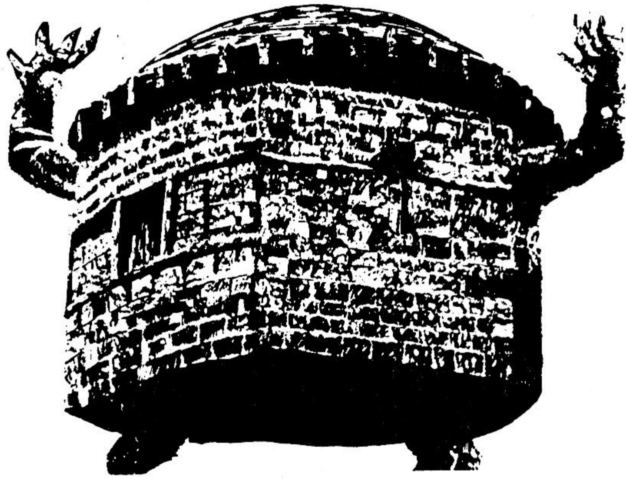
第一使徒 蛙男



第五使徒 悪魔



フラン・ネール



第六使徒 家獣



第四使徒 占い杖

集英社発行・ジャンプコミックス

前巻のあらすじ

太平洋電機の社員佐藤は、社長から重役の椅子を代償に息子の家庭教師をたのまれた。

だが奥軽井沢の別荘にいった佐藤は、少年の地水火風を利用した術で、異人・ヤモリビトに変身させられてしまった

この少年こそ、天才少年「悪魔くん」なのだ。

「悪魔くん」は世界平等の千年王国をつくるため、悪魔をよびだす魔法陣をとこうとしている。

弟子の蛙男と「悪魔くん」は、死者に魂をあたえ、ふくろう女をよみがえらせたが、ついに魔法陣はとけなかった。

そこへ一羽の奇妙なカラスがまいこみ、サタンからすくってくれたら、魔法陣の秘法を教えるというのだ。

「悪魔くん」とサタンとの恐ろしい魔法合戦が展開する。はたして魔法陣はとけるか？



第九使徒
おまわり

第七・第八使徒
別荘番老夫婦



悪魔くん

「千年王国」第2巻より





前巻までのあらすじ

奥軽井沢の山中に、世界平等の千年王国をつくるため、悪魔を呼びだす魔法陣をとこうとしている少年がいた。この少年こそ、天才少年「悪魔くん」であった。

社長から重役の椅子を代償に、「悪魔くん」の家庭教師を引きうけた佐藤は、「悪魔くん」の地水火風を利用した魔術で、異人ヤモリビトに変身させられてしまった。だが謎のフラン・ネール氏の不思議な手術によって、もとにもどった佐藤は、ニセのヤモリビトになりすまし、「悪魔くん」の使徒についた。

サタンとの魔法合戦にかろうじて勝った「悪魔くん」は、ついに、三百年間生きながらえてきたというファウスト博士の出現で、地下から悪魔を呼びだした。

しかしサタンのために研究所は破壊され、悪魔をあやつる、ソロモンの笛が何ものかによって盗まれた。犯人が八仙の使いフラン・ネールとしった「悪魔くん」たちは、ソロモンの笛をとりかえそうと八仙の住む蓬萊島へむかった。

恐るべき術をつかう八仙とは敵か、味方か！

登場人物紹介



「千年王国」第3巻より




平成版
讀者コーナー

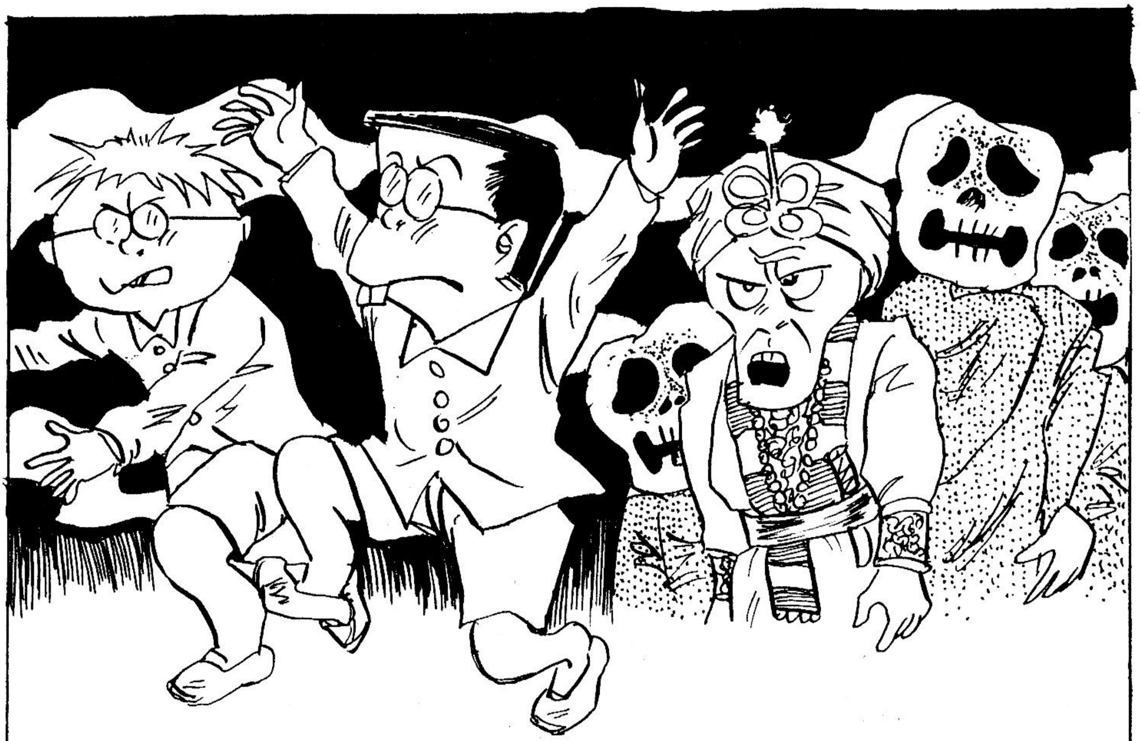
悪魔くん考

by 華月千夏(はなづきちなつ)

初めまして。今回は“悪魔くん”について私なりにFree Talkingさせて頂きます。まず初めて“悪魔くん”にお目にかかったのは小学校低学年の頃です。友達の家に遊びに行った時、何冊か漫画を貸してもらったその中に“悪魔くん”が混じっていたのです。当時、少女漫画に溺愛していた私にはとても新鮮でした。とても面白かったのです。

又、その作者が「ゲゲゲの鬼太郎」の作者でもあったと





言うことは後々の事で、本屋さんに行った時わかりました。

“悪魔くん”の話のノリが好きです。特にメフィストさんの性格が好きですね。あの、クールな所がいいですね。悪魔くんについで２番目にお気に入りキャラです。「鬼太郎」とは違う話のテンポと敵方も面白いし。“悪魔くん”の場合生身の人間ですのでやや他力本願な所もありますが、脇役達の性格が輝いてますから良しとしましょう。

“悪魔くん”の資料はあまり持ちあわせていませんので、ろくな事書（描）けなくてごめんなさい。でも心はいつもスーパーレトロなの。愛なんですってば♡　フフフ…へんなの

10.30.　優でした。



“シャマニズムの悪魔くん”

ｂｙ／香田輝明

悪魔くんを読んでいるといろいろな知識が求められる。いわく妖怪（悪魔）学・民俗学・民族学・政治学・宗教学・人類学・心理学・精神医学・社会学・思想学・歴史学などなどである。我が国では故・澁澤龍彦氏や種村季弘氏が西洋の古今の宗教や民俗などに通じられておられるので興味のある方は一読をお薦めする。

さてここでは、悪魔くんはシャーマンなのかということについて述べてみたい。そもそもシャーマンとは何か……、死んだ人の魂に自分の肉体を貸して（一時的に）口寄せをする人のことである。現代でも恐山のイタコは有名だ。日本ではこの人達のことを“ミコ”とも言う。（他にも地域によっていろんな呼び名があり、ユタ・ツカサ・ノロ・ニイガミ・ゴミソなどがある）

堀一郎氏はシャーマンは聖の世界にかかわる「咒術的カリスマ」であると定義付けられておられる。またマックスウェーバーも「カリスマは誰でもなれるものではない。全く特殊な資質を持っていなければならない」と言っている。まさしく『山田真吾少年は特殊な資質を持ったカリスマであり、シャーマンである』という式が成り立つ。

ここで私は皆さんに『悪魔くん』の作品から山田少年のシャーマンを立証する場面を抽出してもらいたい。シャーマンとしての生来の性格がヒントとなろう。

①子供の頃から偏食であり

②憂鬱で内攻性

③病弱で夢見がち　　　　　　　などである。

以上のような性格の人が、個人的危機意識や社会的危機意識を強く働きかけると精神違和を起こし、たくさんの神秘体験を経て俗人としては死に、カリスマとして蘇るのである。貴方も『悪魔くん』から隠されたキーを探り、シャーマンになれるよう頑張ってみよう！！


昔っから怪奇シュミがあったらしく
「悪魔くん」でおどろおどろしげな
タイトルに魅せられてコミックを
読んだ——ハズなのだケド あまり
印象にないなぁ……。
けれども「エロイム・エッサイム」の
呪文だけはキョーレツなイメージ
でもって記憶に残ってる。
魔法陣を描いて悪魔を呼び
出そうなんてしたコト
あなただって満更おぼえがなくも
ないでしょう？
1989.10.10

悪魔くんで唸る！

ｂｙ／大西いずる

まず初めにお断りしておきますが、僕は悪魔くんファンになってから凄く日が浅いです。５年前に（Ｓ５９年）朝日ソノラマのサンワイドコミックス「悪魔くん（全）」を読んだのが初めての出会いでした。

元々、旧カラー版鬼太郎アニメのファンでして、サンワイドコミックスの「ゲゲゲの鬼太郎」を読み水木漫画の原作ファンになりました。しかし「悪魔くん」は読もうか読むまいかと考えたのが現状です。やはり初めのうちは鬼太郎しか興味が湧きませんでした。最近はどこもかしこも、立ち読み防止にビニール袋にコミックスを入れている。これは新しい水木ファンを生む為に、マイナスとなる大きな要因だと僕は思う。そしてためらって買った。（ファンの方すんません！！　でも遅れて買ったので第４版である。今から思えば悔しい……）

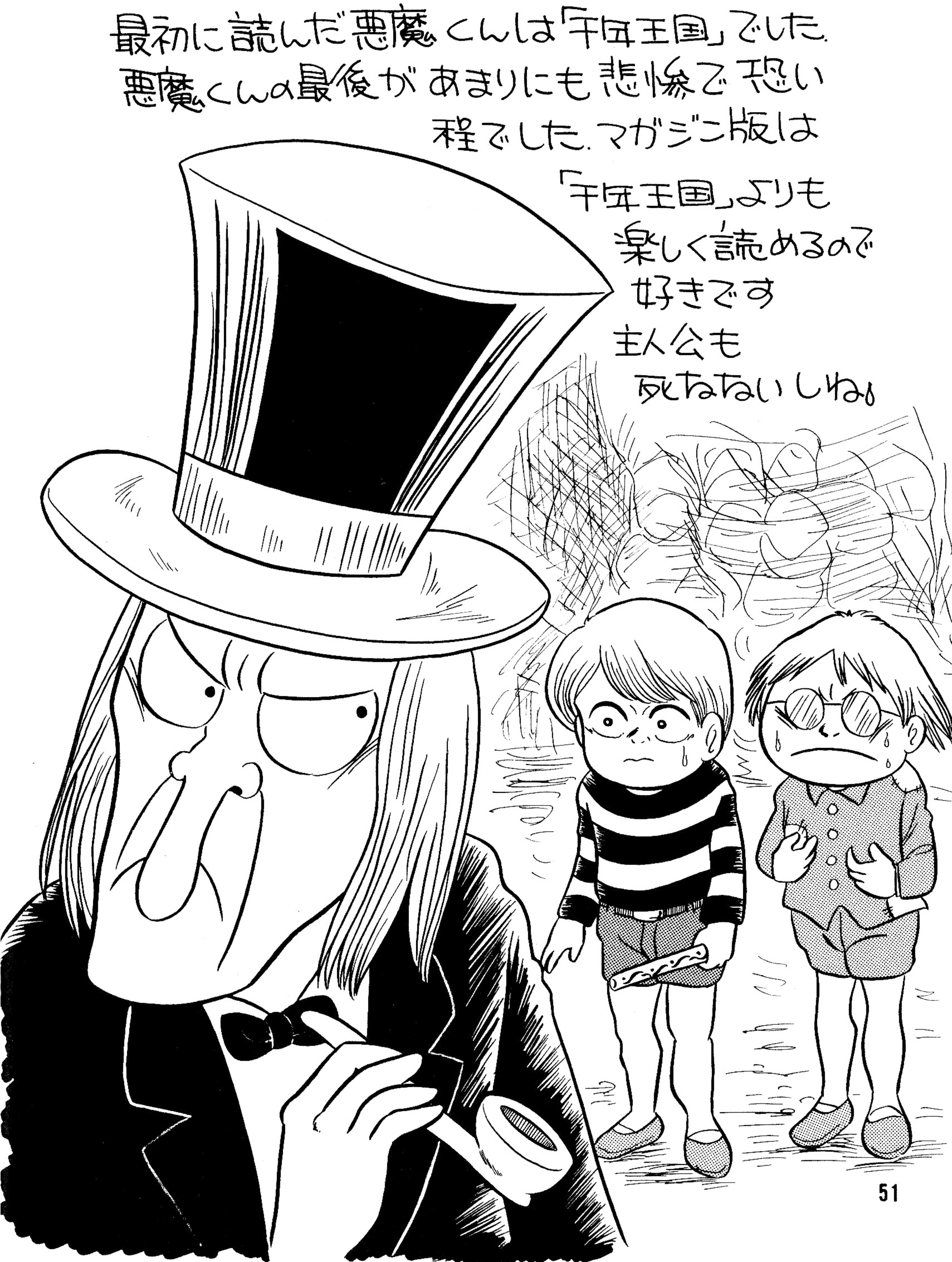
そして読んだ。ファンには悪いが僕はこの段階では唸らなかった。（勿論損をしたとは毛頭すら思わなかった）僕は活劇的なもの、正義感溢れるヒーロー物はどうも性に合わない。僕は偏向であるからひたすら重い腰を上げたのは「水木しげる貸本漫画傑作選」である。もうこれは『フハッ』『フハッ』と何度も唸りまくった！

怪奇的で不気味なタッチが冴えた水木漫画原点の画風。水木漫画が持つ強烈なまでの重厚なテーマの素晴らしさ。そして後に改めて見る「悪魔くん（マガジン版）」は、漫画への異様なまでの書き込みには『フハッ』としか言い表わしようがない。これだけ書き込む先生の漫画にかける情熱がひたすら感じられる。はじめ何も感じなかった自分が恥じるべきである。

最近ではどの漫画家もそうだがトーン多用の漫画ばかりである。制作時間上の関係で無理なことだとは思うが、水木漫画にはトーンは向いていないと思う。怪奇性を秘めた漫画にはやはりペンによる、墨のみだけによる書き込みがベストだろうと僕は思う。特に先生の点描には目を見張るものがある。実に『フハッ』と来る素晴らしい漫画である。

漫画が売れない原稿料も入らないで質屋通いをしていた当時（Ｓ３９年）の水木先生、どん底の貧乏生活の中で生まれ出た「悪魔くん」。水木漫画は単なる情熱をも越えた「悪魔くん」に対する執念が実に書き込まれている。そして見る者を最高に唸らせるのである……、　アパラチャノモゲータ！！

1989.10.2／いずる


最初に読んだ悪魔くんは「千年王国」でした.
悪魔くんの最後があまりにも悲惨で恐い
程でした.マガジン版は
「千年王国」よりも
楽しく読めるので
好きです
主人公も
死なないしね。

悪魔くんの思い出

きたさこ　こうじ

私が初めて水木先生の三大ヒーローの一人、「悪魔くん」を見たのは確かまだ小学生の頃に家で一人で留守番をしていた時、何気なくつけたテレビに偶然映し出されたのが「悪魔くん」のオープニングでした。一人きりだったのでとても怖かったのを覚えてます。

その時の話は白黒版悪魔くん第８話“水妖怪の巻”でした。ドロドロに腐敗した水死体のような妖怪が乗り移ったおじいさんが、窓越しに家の中を覗くシーンは怖くてもの凄く印象に残っています。

原作の「悪魔くん」で一番初めに読んだのは、“少年マガジン版”でして私の一番好きな「悪魔くん」でもあります（貸本版と甲乙つけがたいですが）。メフィストはマガジン版、悪魔くんは貸本版が一番好きなんですが、でもマガジン版の方は悪魔くんが鬼太郎のようにメフィストと二人で妖怪退治をしていく。百目ガンマ・ビチゴン・なんじゃもんじゃ……、もうワクワクして読みました。

貸本版の方は最近出た“朝日ソノラマ”の本で初めて読んで凄いと思いました。『水木しげる貸本漫画傑作選』は絶対に揃えて読んでほしいです。本当昭和４０年前後の間にあれだけの作品を多数描いた水木先生は、ほんま天才ですよね。

朝日ソノラマさんは第３期分も出すべきですよね。

◎４４ページに下手な絵ですが、私のイメージの悪魔くんを描いてみました。

君の名は悪魔くん

ｂｙ／香田輝明

現代はあらゆる意味で飽食の時代である。欲しいものはたいてい手に入るようになった。しかし今だかつて手に入らぬものがある。それはもうひとつの命と悪魔を自在に使いこなせる術だ。

僕のイメージの悪魔くんは暗い自室で、悪魔を呼び出すゾハルの書やイエジラの書を読み耽(ふけ)るというよりも万巻のビデオを観て、やがてやって来る終末に備えながら、自己の天才性に脅え、ひたすら世の中と隔絶している若年寄りというものである。その方が不気味でカリスマがあるではないか —— 隣人としてはなおさら……。

（注・学校のテストで零点をとっても天才は天才である。学校の詰め込み主義の下らない能力を、ひけらかすことが偉いことではないということは、世の中に出て金を稼ぐようになれば誰にでもわかることだ）

だからと言って悪魔くんは僕のイメージの中にだけ閉じ込めておくわけにはゆかない。悪魔くんには悪魔くんにしか出来ない使命があるのだ。まず彼はファウスト博士に会わねばならぬ。博士からメフィストを地獄から招く術を伝授され、かつ悪魔を手足の如くに動かすためのソロモンの笛をもらうことだ。

彼の前に多くの妖怪・悪魔・怪物が立ち塞がってゆく。おゝ、いつの時代も天才には受難が待っているものだ。さあ捲(めく)れ！　悪魔くんは一万年にひとりしか出ぬ天才だ。彼と共にあることのできる同時代人としての喜びと誇りを胸に！！



やったぜ

by ひろりん (よしだひろみ)

はい、どーも… 水木FCに何の関わりもない、ひろりんでございます…今回はFCの会長大西氏に原稿を描かせていただけるという事で、どういう風に描けばよいのか困りました…。というのも、これは正式な水木FCの資料本ですし、私のようなアニメしか見てない奴が、水木先生の原作についてもちょっと話を入れないといけない…となると、ますます迷う…とにかくできる限りの事を描かせていただきます… さて、私、アニメ

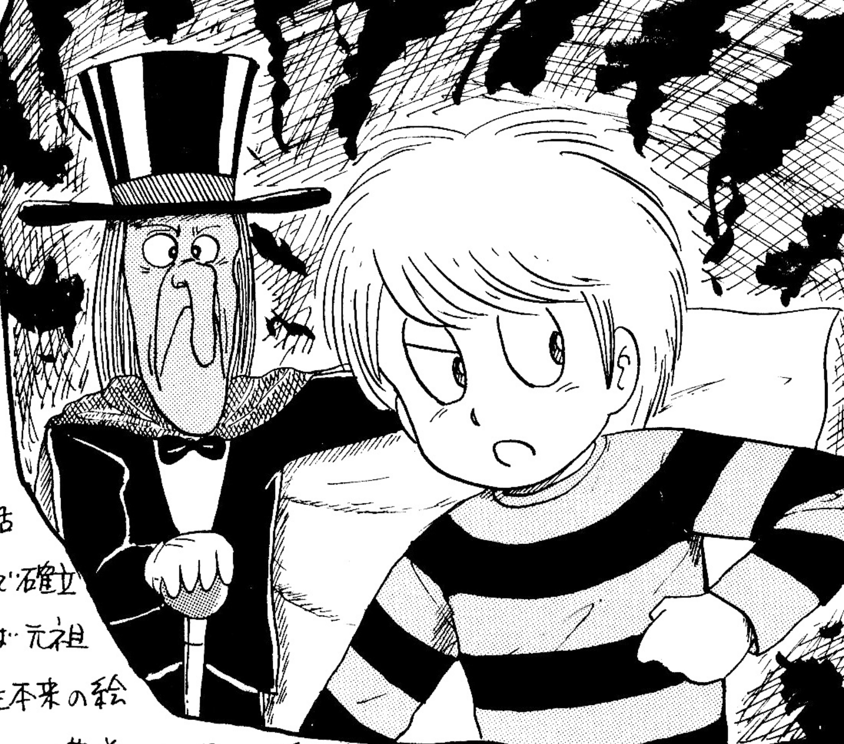




になる前から「悪魔くん」は知っていたのですが、タイトルだけで、どんなキャラであるかも知らなかったんです。

悪魔くん

でも今回アニメ化されて悪魔くんが
とっても好きになっちゃったんです!
それで悪魔くんの原作本を買おう
と本屋に行って見てみると、悪魔
くんのヘアスタイルや服装が違う…
(楳図かずおの猫目小僧に似てるの!)
話によれば現在の悪魔くんは
"最新版"悪魔くんで、元祖はこれ
だったのですね…本当におどろきで
した…元祖の方はメフィスト老が活
躍してて、"12使徒"は最新版で確立
されたみたいですね…考えてみれば元祖
の方が不気味さがあって、水木先生本来の絵
柄って感じがしますね。悪魔くんのしま模様のセーターが鬼太郎の



↑元祖のあくまくんもなかなかよい!

ちゃんちゃんこみたいで…さらには最後に銃殺されるというショッキングなストーリーであるとも
聞きました…!う〜ん何で正義の味方が殺されにゃあならんのか…とにかくはまた今後原作
本を読んでみます。水木ファンなら"最新版"より元祖がお好きでしょうねミやっぱり…たぶん今回
のアニメ化も、元祖の方がよかったと思ってらっしゃる方が多いと思います。(私はアニメから入ってい
ったから、さほどでもありませんが…)でもわかるんですよ、その気持ち…私だって
自分の昔から好きだった漫画がアニメ化されると期待していたら、原作と
のギャップにショックを受けた事が何度もありますから…



まあしかし、水木アニメがまた盛り上がったん
ですよ、これで…!今では完全に「お子様物」と
扱われているのには閉口しますが…(あの
商品がねー)でも中高生の女の子達に
意外と受けしまして、この前もコミケで
メフィスト2世の電子超合金を持っている
女の子がいました…すごいっ やっぱし
悪魔くんは人気あるんですね! 私もほしかったりする
やったぜ、悪魔くん!

(おゆじ)

10月10日 NAMING

編集後記

今回より「水木伝説」の雰囲気が変わりましたが、気がついたでしょうか？　伊藤氏の意見で僕等の描くカットを減らしました。自分としては不本意なのですが、読者の皆さん、どうでしょうか？意見を聞かせて下さい。

しげ幽鬼

あー、やっと今年中に「悪魔くん特集」が出せてホッとしています。次は、「テレビ版・悪魔くん」、「フーシギくん」。ガンバルゾっと♪
　　これからも「水木倶楽部」をよろしく。

きたさここうじ

ゴジラＶＳビオランテに大西氏が群衆その58で登場するそうです、是非　見おとさず発見するヨーに♪
Ｐ・Ｓ　ＴＫ氏はお金持ちのお嬢さまと結婚したそうです。そんな方が身近におられる人は編集部まで連絡を乞う　うまくいったら賞金が錣市兵衛先生より出ます。

香田輝明

疲れたーっとやはりこぼしてしまう。今年は“平成”と言いながら、人間関係がらみのトラブルが相次いだ。でも何はともあれ、年内に「Ⅳ」が完成してほんま良かった。この本をてにして喜んでいただけるのを切に願います！

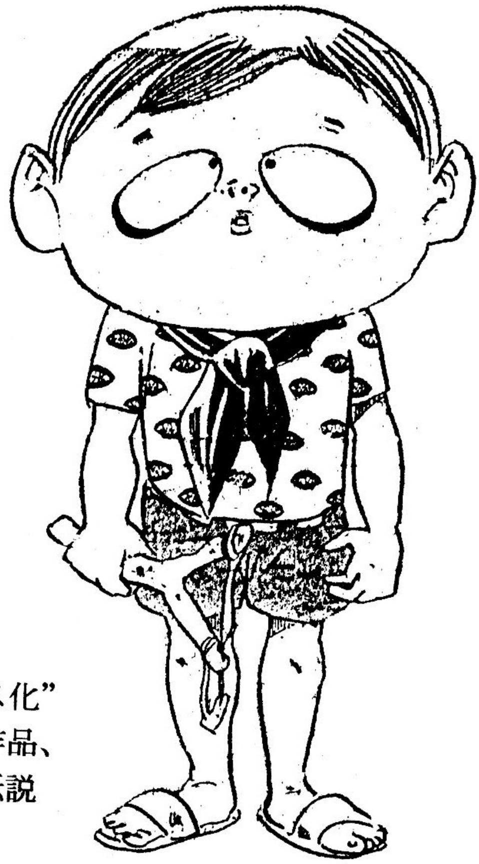
大西いずる

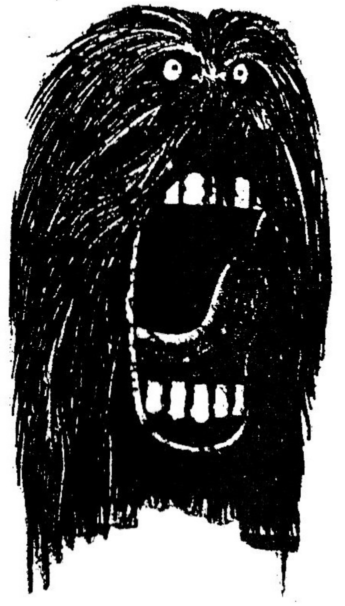
多謝／水木しげる先生＆水木プロの皆様
資料協力／伊藤　徹・浅香唯一郎・北迫耕治（敬称略）
執筆協力／きたさここうじ・竹本未礼・華月千夏・香田輝明
　　　　　川瀬あきこ・佐藤美代子・ひろりん（敬称略）

《次号予告・水木伝説Ｖ》

フーシギくん







今だかつて“コミックス化”された事がなかった幻の作品、『フーシギくん』が水木伝説で甦る！！

○全作品もらさず収録
○“フーシギくん”妖怪ものしり教室
○ドキュメント！！フーシギくんの時代　ｅｔｃ．

限定１００部発行！！

予約はお早めに……。

※この広告は、今後の発行予定と全く関係がありません！ご注意下さい。

目次

（表紙）絵／水木しげる　レイアウト／大西いずる
（ポスター）絵／水木しげる

おくづけ

会　誌　名／水木伝説Ⅳ　－悪魔くん特集－
発　行　日／平成元年１２月１７日　初版発行
　　　　　　平成11年４月１日第２版発行
発行部数／限定１００部
印　刷　所／太陽出版株式会社
連　絡　先／〒６５４－０１５１
　　　　　　神戸市須磨区北落合３丁目３８－２１７－７０９
代　表　者／馬場茂幸
製作・発行／水木しげるＦＣ・水木伝説
　　　　　　水木しげる黄金時代愛好者倶楽部

